

第6回 公民館まつり

平成25年2月16日(土)~17日(日)

今年も公民館まつりを行います！！文化祭とは異なり、サークル・団体の活動を体験できるお祭りとして人気があり、今回で第6回目を迎えるました。何か始めたいと考えている方、普段公民館で何をやっているのか知らないという方、ぜひご来場下さい。シンプルな体験から、レベルの高い体験まで幅広く楽しめる内容になっております。

様々なサークル・団体の活動を体験してみませんか！！皆さんの参加をお待ちしております。

※体験は無料です！模擬店(有料)もあります。

※体験はどなたでも出来ますが、参加するサークルは公民館を利用しているサークルのみとなります。



ダンスに挑戦!!



三味線に挑戦!!



押し花を体験中



水墨画を体験中



※どんどん焼きは、地域により異なります。

平成25年1月13日(日)14時より新橋小学校校庭にて開催いたします。
どんどん焼きは、古くからの伝統行事としてお札や正月用の門松等を燃やし、竹棒などで餅やみかんを炎に入れ、焼いて食べると厄除けになるという言い伝えにより行われてきました。
皆様の参加をお待ちしています。なお、天候良好の場合は、午後1時に開催の花火を上げます。その他アトラクションとして和太鼓の勇壮な演奏を実施予定です。

お知らせ
どんどん焼き

第151号

【記事等に関する問い合わせ先】

野木町公民館(館報編集委員会事務局)
(57)4188

南赤塚

分
館
か
ら

料理（そば打ち）
教室開催



「やっぱり、手打ちそばは美味しいね。」そんな声があちらこちらから聞こえていました。
11月28日南赤塚学区分館主催の料理（そば打ち）教室が町公民館の調理室で開催されました。野木町手打ち蕎麦愛好会会長や会員の方々のご指導をいただきながら、そば打ちを進めることができました。

初対面で緊張した参加者の方々もそば粉を交代で混ぜたり、こねたりを繰り返すうちに打ち解け、各グループからの笑い声ができました。

11月10日野木分館主催によるウォーキング大会が行われました。当日は晴天にも恵まれて絶好の日和です。

分館長の挨拶のあと、大字会員の方々のご指導をいただきながら、そば打ちを進めることができました。

野木

ウォーキング大会



も多くなり、和やかな雰囲気の中で、手打ちそばが完成しました。そばの長さも太さも「こじ」の強さもそれぞれのグループで異なりましたが、世界でたつた一つのそばが出来上がりました。賑やかな中にも楽しく、そば打ちを体験し、次回の開催を約束し教室を終了しました。

墓地まで20kmに19名の参加者が出発です。
最初の休憩場所の赤塚公園では、ケヤキ、サクラなどの木々が紅葉し木の葉を散らせて、風にあおられ路傍に吹き寄せられていきました。ふと見れば、冬桜だろうか、小さな花を咲かせています。車社会の現代、近くに行くにも車を利用しています。歩く事により自然の良さが身近に感じられるものです。

運動公園で分館が用意した弁当を食べ休憩を取りました。野球場では子供達が元気に試合をしています。

休憩後、残り8km全行程20km、参加者全員が日頃の健脚を自慢するように、軽やかな足どりでゴールする事ができました。次回も又、参加したいものです。

行くにも車を利用しています。歩く事により自然の良さが身近に感じられるものです。

運動公園で分館が用意した弁当を食べ休憩を取りました。野球場では子供達が元気に試合をしています。

休憩後、残り8km全行程20km、参加者全員が日頃の健脚を自慢するように、軽やかな足どりでゴールする事ができました。次回も又、参加したいものです。

優雅なハワイアンソングに合わせ、安部みきい講師の下、50才～60才の仲間が、身体に負担の少ないリズムで踊り、こじり汗をかいています。又、地域交流のため各施設でのイベント・ボランティアに参加しています。

フラダンスは年齢を問わず楽しく踊れ、心も、身体もリフレッシュできます。皆様もいかがですか。是非見学にいらして体験してみませんか。お待ちしています。

練習日	第1・2・3土曜日
場所	公民館研修室
時間	午前9時30分～11時
連絡先	濱田美智子
TEL	561-0382



特集

「きひづな」

丸林西富士見会



丸林西富士見会は斎藤健之助会長をリーダーとして会員相互の親睦を図り、併せてクラブ活動の充実と強化を推進し、老人福祉の増進、社会福祉の発展を目的として実施しております。

事業内容は仲間づくりを通して、生きがいと健康づくりをモットーに生活を豊かにする楽しい活動とボランティア活動を行っています。

社会奉仕活動として当地域の星宮神社及び薬師堂の除草及び

薬剤散布と清掃作業を実施しています。その他一斉道路清掃を実施しております。

また、スポーツ大会へ積極的に参加しており、町主催のレクリエーション大会では、輪投げ部門で優勝し、2連覇を達成しました。その他玉入れ競技では2位となりました。

輪投げ部門では団体優勝のか、個人賞も獲得し、団体として野木町代表で県大会に出場しました。当チームは善戦しましたが残念な結果でした。

以上のこと、町福祉センターより表彰され、さらに県老人クラブ連合会より評価され、表彰を受けました。会員相互と地域社会の絆で長寿社会の充実を推進いたしたい。



素顔

島田 敏雄さん



昨年の秋(24年9月)最後の山、安達太良山に登りました。心配の天候にも恵まれ、山仲間と山顶で「万歳」をしました。仲間手作りの「百名山達成おめでとう」の横断幕を掲げ、祝いの花束を頂き、周囲の20名位の人達も一緒に祝っていただきました。又、仲間が早起きで作ってくれた「栗入り赤飯」の味も格別でした。

仕事を64才でリタイヤ。妹の勧めで登山開始。初め、膝が痛く、山歩きで皆について行くのが大変でした。このままでは登山は無理と、朝のウォーキング、

温水プールの水中ウォーク、大平山でのザック重量増しで登るなどで身体づくりを実行です。日増しに山登りが楽しくなり、百名山をめざして山仲間に同行、日本全国、北から南までの遠方の山を踏破し、百名山を比較的早く達成いたしました。

山の仲間に感謝!

参考「日本百名山」深田久弥著



【お知らせ】

サークル紹介してみませんか

公民館、町体育センター、町施設などで活動している団体の方でご希望がございましたら、館報編集委員会事務局までご連絡下さい。

※掲載につきましては館報編集委員会で決定させていただきます。
TEL 571-4188

素顔

友沼

川島 良一さん
佐代子さん

ラオスの教育支援



モン族の晴れ着を着て

知人に勧められて小山から野木に移り住んだが、2人共県外勤務や転勤族だったので、町民とは名ばかりだった。定年後ようやくゆとりができ、サークル活動・ボランティア・家庭菜園・ウォーキングで多くの人とことばを交わすようになった。改めて野木町の住みやすさを感じている。

共通の趣味は旅行・音楽・美術館巡り等。ラオスの教育支援はライフワークとなり、6年目を迎えた。昨年の生涯学習講座に続いて、ラオスの紹介ができることを嬉しい思っている。

<支援内容と子供達の様子>



旧ホアイホック小学校の2、3年生

15年間で小学校2、中等学校1が出来た。正面の壁には「みんな仲良く健やかに」「夢を育み未来を拓く子供達」とはめ込んでもらった。子供達や村人みんなの喜びが伝わる譲り



ドンムアイ村中等・川島学校下校前の生徒達

訪問時には学習参観の他に、日本の遊びと習字や折り紙、縄跳び、ドッジボール等を体験させた。言葉の壁は? 何とかなる。



ドンムアイ村小・川島学校手洗紙芝居「バイバイバイキンくん」

<教育支援の始まり>
以前から途上国に関心があり、少しづつ側面からの支援を続けていた。その後、人と繋がれる活動をしたいと思つていてところ、NPO法人のD E E F C にラオスの学校建設協力を依頼されて現地を視察した。

飛行機を乗り継ぎ、車であちこちの村の学校を見て回つた。

机も椅子も不足している粗末な建物ばかりだった。教具も無い。

「雨の日は雨漏りがする。

」子供達に、安心して勉強ができる学校を作りたい。」との思いが支援の始まりである。

渡式だった。学校を大切にしてしっかり勉強してくれるだろう。
その他の支援として、文房具・ボール・ブランコ・絵本・衣類・石けん・お菓子等を提供した。

昨年小学校で手洗いの指導の後、給食を実施してみた。御飯・ゆで卵・スープ・ふりかけと水。村中総動員で協力してくれ、とても賑やかだった。

子供達は、口じろやらないことを興味を持つて楽しんだ。野木町特製の竹トンボや風車には大人も加わり大人気だった。
多民族国家の中でも、山岳民族あるラオスの中でも、山岳民族の教育環境は遅れている。反面、首都近郊は年々栄え、教育水準も高くなっている。同行通訳の私立学校へコンピューターを寄贈したとたんに、生徒数が増え、話題になつていると聞いた。

日本遊びの様子

地雷除去作業現場

教育支援活動をして思うこと

教育の必要性はどこにいても同じこと。縁があつてラオスの子供達とのかかわりを通して、自分達の考え方も豊かなつた。これからは奨学基金等を充実させて、末永く取り組めることを願つてゐる。



シェンクワン県地雷除去作業現場